

11:25大峠と三斗小屋温泉を結ぶ登山道を横切る。更に下降を続けると、赤岩沢を合わせた先に4mの滝が出てきた。右岸にのびる岩稜状の岩を下って通過する。水流のすぐ左手を登ることはできそうである。このあとナメと小滝を見て、11:50峠沢との合流点に出る。そこから更に40分の下降で三斗小屋宿に出、下降終了とする。

(記・ )

[タイム] 清水平(9:15)→登山道(11:25)→峠沢出合(11:50)→三斗小屋宿(12:35)

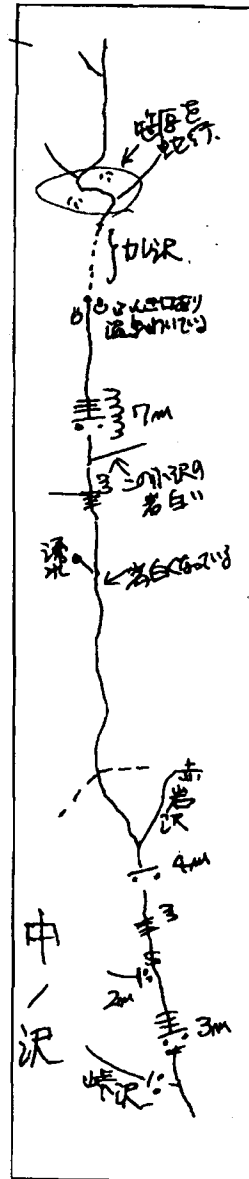
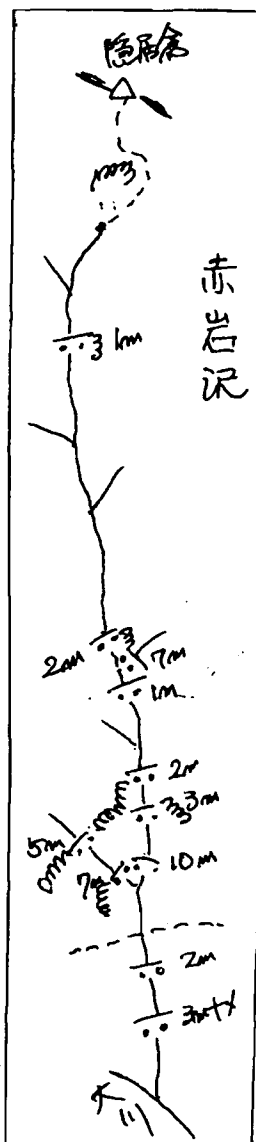
### 赤岩沢

1991年8月17日

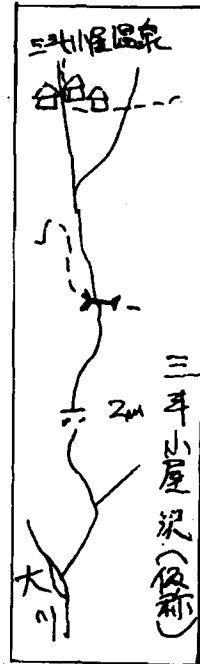
三斗小屋宿より湯川(苦土川)本流を遡り、40分で中ノ沢出合。そこから更に15分で、今日の目的の沢である赤岩沢出合に到着する。赤岩沢は、中ノ沢に比べるとぐっと規模が小さく、あまり期待がもてそうにない。とにかく先を急ぐ。

小滝2つを越え30分程遡った所で、出てきました10mの滝。水量が少ないためあまり印象には残らないが、岩場の上から垂直に落下している。

滝は直瀑でとても登れそうにない。おまけに両岸には岩場がのび、行く手をさえぎっている。左右どちらが楽か判断に苦しんだが、右岸の方の壁が低そうなので、そちらに取り付くことにする。壁とブッシュの境を進み、灌木を利用して4m程の高さの岩場を登り、不安定なガレ場をトラバースして滝の上に出る。このあとは平凡となってしまった。



7:35左岸から新しく崩壊が生じた小沢が合流する。このあとはブッシュがかぶさるようになり、沢も小さく枝分かれしてゆく。隠居倉に直接突き上げる小沢をたどり、8:00遡行終了。最後の岩場は右から捲いて、あとはヤブこぎ。隠居倉のピークはすぐ近くだと思ったのだが、ハイマツに行く手を阻まれ、大変なヤブこぎとなってしまった。8:30隠居倉のピークに立つ。



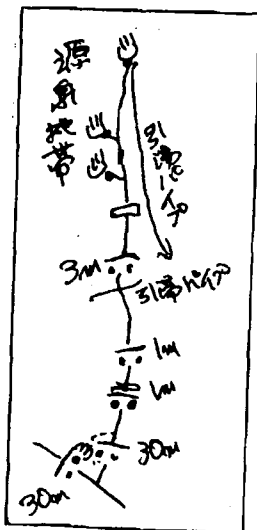
【タイム】 三斗小屋宿(5:30)→中ノ沢出合(6:10)→赤岩沢出合(6:25)→沢終了(8:00)→隠居倉(8:30)

### 三斗小屋沢(仮称)

1991年8月17日

三斗小屋温泉から下降開始。この沢は全くの平凡。小さなナメと2mの小滝があっただけで、湯川本流に出てしまった。三斗小屋温泉から登山道まで40分。そこから湯川本流まで50分。正味90分の短い下降であった。

【タイム】 三斗小屋温泉(9:15)→登山道(9:55)→湯川(10:50)→三斗小屋宿(11:10)



### 御沢右俣

1991年6月8日

5:40遡行開始。45分で、御沢出合。昨日の疲れが目立つメンバーがいて、ゆっくりペースである。7:20今日の目標の右俣出合。出合には、なんとなくなまあったかい風が吹いてきていたが、あとから考えると、温泉の影響であった。

出合の30mの落差をもつ滝は、右岸から捲く。水量が少なければ、直登できそうに思えたが、無理をしないことにした。急斜面を樹木を頼りに登って滝の上に出る。